

PH-3-iii-02	実用数学B	第3学年	後期 選択必修	0.5単位
担当者	中川 弘一			
一般目標 (GIO)	公務員試験の教養試験科目の一般知能分野の中の数的推理の問題が解けるようになる。			
到達目標 (SBOs)	公務員試験の数的推理の中の「方程式と不等式」、「図形」、「場合の数と確率」に関する問題が解けるようになる。			
受講心得・準備学習等	高等学校の数学I「数と式」、「2次関数」、図形と計量、数学A「図形の性質」、「場合の数と確率」をよく復習しておく。			
事後学習・復習等	実際の公務員試験の参考書・問題集で数多くの問題を解いてみる。			
オフィスアワー	本授業のある日の15:00~17:00に物理学研究室で質問を受け付ける。その他の時間帯を希望する場合は担当者に確認すること。また、定期試験に関する質問は実施日の3日前からは受け付けない。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義/演習
回	項目	内容
1	方程式と不等式	通過算、ダイヤグラム、割合、濃度
2	方程式と不等式	百分率、増加率、仕事算、ニュートン算
3	図形	三角形、三角形と面積、円、円と面積、立体図形
4	場合の数と確率	場合の数、順列、組合せ
5	場合の数と確率	種々の確率
6	定期試験	

成績評価の方法	授業への取り組み方と受講態度、演習課題、定期試験の総合評価。
成績評価の基準	上記総合点(100点満点)の60点以上を合格とする。
教科書	必要に応じてプリントを配布する。
参考書など	授業の中で紹介する。